



第1号 令和5年7月24日 登別小学校 教務部研修係

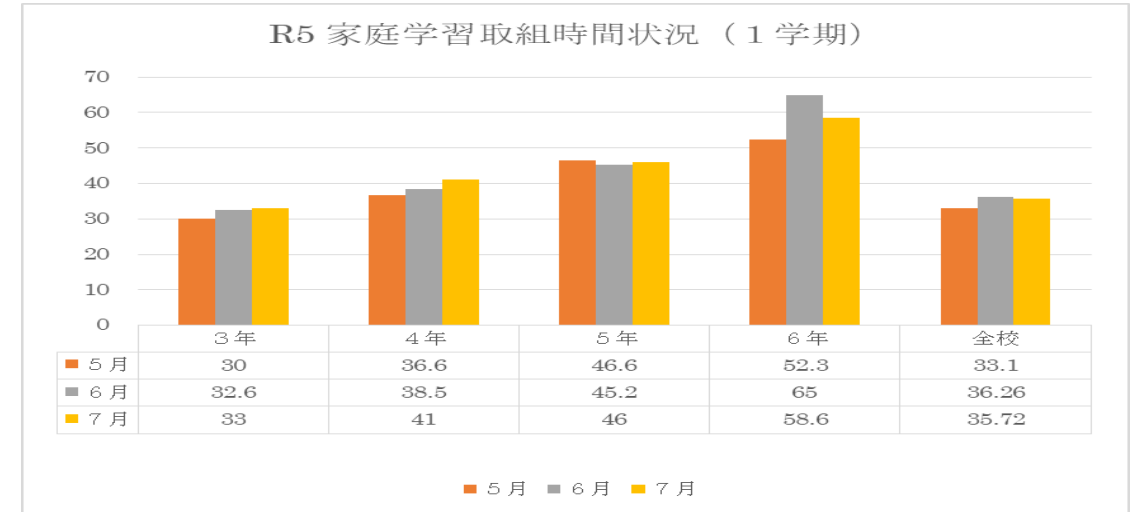
一学期の学習を終え、夏休みへ！

4月の始業式・入学式からあっという間に4ヶ月が過ぎました。子どもたちは、学習の仕方やルール、友達と協力して生活する力などを身に付けてきました。また、朝学習を通して、読書や計算、読解などの基礎・基本に重点的に取り組んできました。タブレットを有効に活用しながら、基礎・基本の計算練習はもちろん、友達と話し合ったり、互いに発表し合ったり、調べたりする活動にもタブレットを使用して、学び合う力を高めてきています。

さて、明日から夏休みです。学校から離れ、家庭で過ごす大事な期間です。苦手としている学習の復習をしたり、家族とゆったりとした時間を過ごしたりするなど、充実したものにしたいと思います。

以下に、夏休みを過ごす上で、大事であると考えている内容載せています。親子で一緒に読んでいただき、夏休みの約束や計画の参考にいただければ幸いです。

②



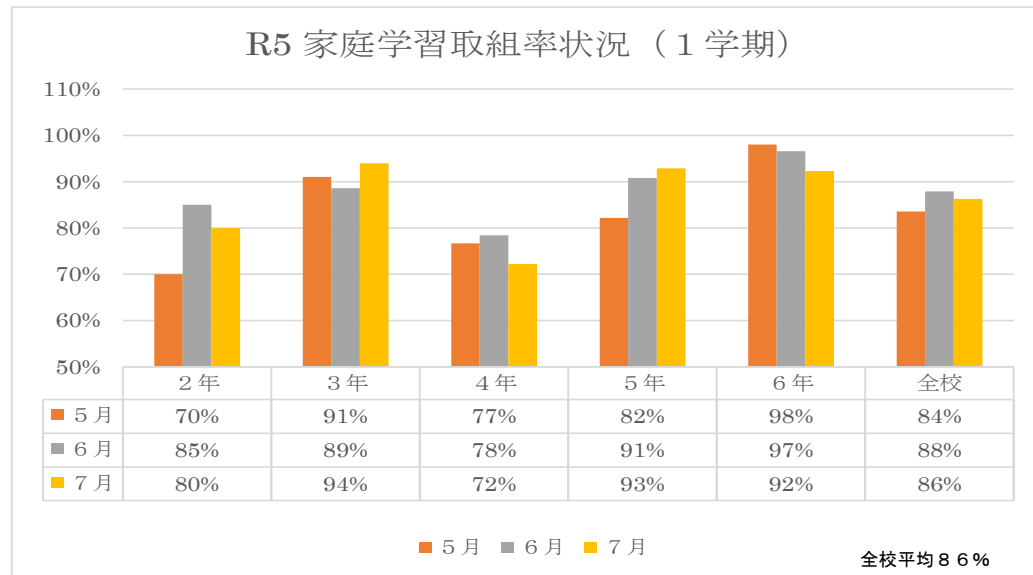
③

家庭学習強化週間（6月26日～30日）集計結果

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
取組率	76.7%	86%	88%	80.7%	96.2%	98.5%
取組時間			22.4分	27.1分	44.2分	62.9分

集計結果から見てきた「○良い点、●課題点」

① ★ 登別小学校5～7月の家庭学習提出状況 ★



①

○全校取組平均が86%と、概ね達成率に近い数値となっている。
○強化週間があった6月は取組率が高い。
●学年によって取組率にばらつきがある。

②

○5月から7月にかけて取組時間が増加
○家庭学習期間に集中して取り組めた学年もある。
●目標取り組み時間に達成していない学年もある。

③

○取組時間・取組率の両方を意識して取り組めた学年もある。
○時間は少ないが、取り組もうとした学年もある。

考察へ



「考察」

家庭学習については、**提出率90%以上を目指して**取り組んでおり、廊下や教室内に家庭学習ノートや普段の授業のノートを掲示して取り組み方を紹介するなどして、子どもたちの意欲を後押ししています。また、家庭学習強化週間を設け、取り組み方や取組時間の改善に役立てています。

①のグラフから分かるとおり、1学期は家庭学習に取り組む児童の平均が、**全校児童の86%**でした。また、①と③より、**家庭学習強化週間があった6月は比較的、取組率を意識して**取り組んでいることがわかります。そして、強化週間を経て、7月にも取組率が高まった学年もあります。あまり伸びていない学年もあるものの、常に90%を超えている学年もあります。ご家庭でのご協力、お声がけのご支援ありがとうございます。②より、各学年の取組目標時間を達成している学年があったり、5月から徐々に取組時間が増加傾向にあったりする学年もあります。しかし、②と③を比較すると、**強化週間中、目標時間を超えなかった学年もあり、取組率に対し、目標時間が意識されていないという課題**も見えてきました。今回の結果を活かし、家庭学習の取組率、取組時間を更に伸ばし、定着させることができるよう、学校の方でも工夫していきたいと思います。**家庭学習は、学習の基礎的な力を確実に身に付けることや、自ら学習をする習慣、学習方法を身に付けるために大変重要な役割**をもつ取組です。**「継続は力なり」**と考え、子どもたちの地道な取組や努力を認めていきたいと思います。取組が定着できるように、これからはご家庭での声掛けをよろしくお願いいたします。（※1年生については、1学期途中から取組が始まりましたので、2学期から集計を取る予定です。）

「夏休みにやってみよう！」

1) 1学期の学習をふり返ろう

- ・各学年で出されている宿題に、計画的に取り組みましょう。
- ・漢字や計算など、繰り返し練習すると覚えられるもの、素早くできるようになるものは、継続して取り組むことが重要です。

2) ご家庭だからこそできる活動をしよう！

- ・読書や植物のお世話、家のお手伝いなど、普段なかなかできないことにも取り組みましょう。

3) 自律的に過ごそう！

- ・夏休みはどうしても生活リズムが乱れがちになります。規則正しい生活を送ることができるよう、「学習は午前中の涼しい時間にします。午後は外へ行って、思い切り遊ぶ」など、ご家庭で約束を決めるとよいと思います。また、テレビ視聴やゲームの時間についても、ご家庭での約束を親子で話し合いルールの下で楽しむようにしましょう。（登別では一日1時間がメディア使用時間となっています。ご参考までに）

「にじいろノート賞」の廃止と「家庭学習皆勤賞」について

今年度より、昨年度まで表彰していた「にじいろノート賞」については、昨今ノートを使わない学習（ドリル型・タブレット端末、実際に調理などの体験を行うなど）、お子様に合った**「個別最適な学び」**を保護者の皆様と考えながら選択していくことが大切である、という考え方から廃止しましたことをお知らせいたします。

学習ノートの使い方については、日常の授業の中でも思考の跡が分かるように工夫されているものもあります。家庭学習ノートと各教科ノートの両方を見取り、手本となるものについては校内に掲示し紹介する、といった形に変更しています。

それに代わる取組として、今学期は、家庭学習の取組に対する努力を認め、関心を高めるために**「家庭学習皆勤賞」**という賞を設け、表彰することとしました。

日々の継続と努力は、お子様の自信や学習意欲につながっていくものです。

学校としましては、引き続き保護者の皆様との連携のもと、お子様に望ましい学習習慣が身に付くよう努めてまいります。

保護者の皆様におかれましては、これまで同様、お子様の家庭学習計画や方法、内容、時間のご相談にのっていただき、励ましのお声がけをお願い致します。

なお、家庭学習の取り組み方や、表彰につきましては、今後も工夫・改善を行って参ります。